



広報

平成24年1月1日発行

たちばな

第20号

(財)日本医療機能評価機構認定病院

橘病院

整形外科専門病院

TACHIBANA HOSPITAL

<http://www.tachibana-hospital.jp>

## 年頭所感

理事長 矢野良英



新年明けましておめでとうございます。皆様には健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、都城市においても、1月初めに、中心市街地のデパートの倒産という暗いニュースに始まり、霧島連山新燃岳の大噴火による降灰の被害を受け、国内では3月11日に東日本大震災がおり、マグニチュード9.0という巨大地震と大津波により、死者行方不明者約2万人の人命を失いました。さらには、地震と津波により福島第一原子力発電所事故が発生し、放射性物質による重度の汚染が起きて、今でも十分な対策が進んでいない状態です。今こそ国民の間の絆が大切な時です。昨年の世相を1文字で表わす漢字は「絆」でした。

当院におきましては、昨年度は特に大きな事業はありませんでした。日常診療では、入院患者さんのリハビリテーションの充実の為に、日曜・祝・祭日も休み無しのリハビリを実施していますが、年間を通しての更なる体制作りの強化を図っています。

昨年は、急な手術を必要とする骨折等の外傷の患者さんの増加によりまして、6月より週間予定で手術日を週3日(火・水・金)より週4日(月・火・水・金)と増やしました。昨年の手術症例は、人工関節置換術229例、大腿骨頸部骨折の手術件数92例を含めた骨折等の外傷の手術件数が194例、脊椎の手術43例、関節鏡34例で総手術件数が500例となっています。

手術日の増加に伴い、午後からの外来患者さんへの医師の診察に困難をきたし、11月よりやむを得ず、午後の外来診療を新患の患者さんのみと限定して対応しています。これにつきましては、意見箱に苦情の投書がきています。これは国の医療施策と密接な関連があり、病院は国の施策に沿って苦慮しています。

今年は介護保険と医療保険の診療報酬改定が4月に同時に行われますが、その内容によりましては、私どもの病院の今後のあり方が示唆されます。今年はそれに沿って方策を建てて、場合によっては新たな事業を展開する必要性が生じてくるかも知れません。その際は新たな目標を達成できる為に、一時的にも外来患者さんに更なる協力をお願いすることが必要となるかも知れません。

新たな事業が完成した暁には、外来患者さんにも十分満足してもらえる診療体制が作れるのではないかと夢見ています。しかし先の読めない時代です。今年もひき続き働きやすい職場環境作りをめざして、全職員の力を結集し、ゆとりある医療を行い、ひいては、患者様方に満足度の高い安全な医療を提供出来るように努力していきたいと考えている次第です。本年が皆様一人ひとりにとって、素晴らしい年になりますように心よりお祈り申し上げます。本年も宜しくお願い致します。

## 検査科だより

検査科 山田 美都子



こんにちは、検査科の山田です。当院では主に、生理検査を行っています。「生理検査って何？」とお思いでしょうか、意外に患者の皆様には、とても近い検査です。例えば、健康診断でよく目にする、「心電図検査、肺活量検査、エコー検査」などです。他にもありますが、今回は「エコー検査」を紹介していきます。

エコー検査は専門性が高く、心臓、腹部、乳腺、甲状腺、運動器、血管と、細かく分けられています。

当院は整形の専門病院ですので、運動器、血管エコーを数多く行なっています。肉離れや、むくみ等で足がパンパンに腫れあがった状態で当院を来院される方を目にしますが、その場合医師の診察を受けてから、エコー検査になります。肉離れでは、筋肉の損傷状態や内出血の状態が素早く、分かります。また、実際に足を動かしながら、観察しています。むくみの方は、足の血管と筋肉内の浮腫をみていきます。ここでも足を動かしながら観察し、主治医に報告しています。

10月に超音波医学会(九州地方会)に参加しましたが、トピックスとして運動器エコーと関節リウマチエコー、幅広い知識を必要とする血管エコーに話題が集まっていました。

当院では、放射線科とリハビリ科との連携を取りながら、患者様の足の動かし方、筋肉の使い方を教わりながら、運動器エコー検査の診断に役立つ様、私自身奮闘中です。重そうにエコー機器を、引っ張っている技師を見かけたら、私ですので「山田さん」と声をかけて下さい。お待ちしております。

## 所属長紹介

一般病棟師長 障子田 ツヤ子



こんにちは。障子田です。毎日入院の患者さん、手術の患者さんを受け入れる病棟に勤務しています。辛い病気や痛みにと戦っておられる皆様も日数を重ねる事で笑顔にかわります。早期社会復帰を目指してリハビリなど頑張っておられます。このような病棟ですが毎日患者さんから力を貰いつつ皆様のお手伝いをさせてもらっております。少し自己紹介を致します。

私は志布志で生まれ二卵性の双子です。大変仲が良く兄といつも一緒に男の子と遊び女の子と遊んだ記憶はあまりありません。双子で良かった事は忘れ物をしたら先生から、「義明、男やろ！家まで走らんか!!」と、15分かかる所まで取りに行ってくれていました。悪かったことは運動会などで足の速さでの比較でした。おじさん達が、「ツヤ子、運動会の朝生卵を義明に負けんように2ヶ飲んで行けよ、足が速くなるからね!」と恒例のはやし言葉でした。食べ物が豊富ではない時期でしたが、私だけが卵を2ヶ食べましたが、結果は出せずに終わりました。母は運動会終了後、「ビリでも最後まで走れたがね。ビリがおらんが一番もおらん、次頑張れば良か。」今考えるとかける言葉がなかったのでは？1回だけ後ろから3番目になり、その賞品がノートでした。祖母が「仏さんに上げんといかん」と言われ喜んでくれました。その時親戚の伯父さん、伯母さん達が応援席から立って応援してくれたそうです。生まれ変わったら足の速い子供になりたいと願っていますが無理かな？

子供が二人いますがスポーツの得意な子供は残念ながら生まれず。元気であれば良かね、と言いながら生卵を我子にも飲ませた事もありました。今では母も91歳になり耳も遠くなりましたが私の指導者です。運動会の話など今でも家族そろったら話題になります。

現在都城に在住し32年になります。生まれ育った志布志と変わらず都城も大好きです。

これからは趣味も取り入れ楽しい一日を過ごして行けたらと思っています。病んでおられる方々の手助けになる為にはまだまだ知識、技術が不足していると思いますのでスタッフ全員で努力して行きます。

## リハビリワンポイントアドバイス(後編)

### 腰痛ストレッチ体操

※ストレッチはゆっくりと(反動をつけないで)痛みがない範囲(強さ)で息を止めないよう行ってください。

#### 4. 腰の筋肉(背中側)を伸ばす体操

おお向けになり、両手を頭の後ろで組む。右ひざを曲げ、そのまま下半身を左側にゆっくりひねっていく。右ひざを床につけるつもりで腰の筋肉を伸ばすようにそのまま数秒間静止し、ゆっくり元に戻し右ひざを伸ばす。左足も同様に。これを左右3回程度行う。



#### 5. 背筋を伸ばす体操

おお向けになってお腹に力を入れ、両手で両ひざを抱え込み、約1分保つ。息を吐きながらゆっくりとひざを伸ばす。これを1回から2回程度行う。



# 主任紹介

リハビリテーション科主任 桑畑 慶輔



皆様こんにちは。リハビリテーション科主任で、2階病棟を担当しております桑畑と申します。昨年より主任という役職を与えていただき、試行錯誤しながら慣れない業務を日々努めています。

リハビリ室内にも掲示してありますが、私の趣味は「体を動かすこと」です。しかし全ての運動が好きなわけではなく、不得意とする競技も多くあります。そして本当の事を言いますと、主に剣道しかしていません。ではなぜ趣味の欄に剣道と書かなかったか、その理由としては「趣味という分野に当てはまらない」ように感じるからです。剣道はストレス発散になりますし運動不足解消にもなります。しかしただ竹刀で当てるだけでは一本を取ることは出来ず、「気・剣・体」が一致しなければ相手に勝つことは出来ないのです、本当は非常に難しく、決して楽しむだけの競技ではありません。ですがその剣道に面白みを感じ、リハビリについて学ぶ中にも反射や反応、大事な筋力など剣道にも生かされるポイントが非常に多く点在するため、練習でうまくいかなかった時は理学療法士としての視点からも原因を考え、少しでも強くなれるよう頑張っている最中です。

さて、2階病棟には救急の患者様を始め、これから手術される方や無事手術の終えたばかりの患者様が約50名入院されています。私達2階病棟担当のリハビリスタッフは、このような患者様の痛みが少しでも減るように、また筋力などの機能がいち早く回復・向上するように、可能な限りのサポートをさせていただいています。

もちろん機能的な面のみでなく、体に対する不安や自宅復帰、仕事復帰に対する悩みなどに対しても「輝く笑顔とはつらつとした声」でお応えし、楽しく充実した入院生活を送っていただけるよう、チーム一丸となって患者様に協力してまいりますので、2階病棟担当リハビリスタッフ一同共々、宜しく願いいたします。

## リハビリテーション科主任 塩崎 静香



皆様、こんにちは。昨年より、リハビリテーション科の主任をさせていただいています、塩崎静香と申します。現在は主に、回復期リハビリテーション病棟(3階)で仕事をしています。気づくと橘病院で長い間お世話になっており、入社した頃は独身でしたが、現在は結婚し子供2人に恵まれ、毎日忙しいですが楽しい日々を送っています。回復期リハビリテーション病棟とは、急性期(手術や骨折をした直後)を過ぎて、症状が少し落ち着いた頃から退院に向けて集中的なリハビリを行っていく病棟です。手足の曲げ伸ばしや歩く練習などももちろん行いますが、退院すると食事をしたり、トイレに行ったり、お風呂に入ったりといろいろな動作が必要になります。例えば、お風呂に入るといっても、まず、衣服を脱ぐ・浴室に入る・椅子に腰かける・シャワーを使う・体を洗う・髪を洗う・浴槽に入る・浴槽から出る・脱衣所まで行く・洋服を着るなどいろいろな動作が含まれています。それをご自宅へ帰られても不自由なくできるように一緒にリハビリをさせていただいています。

その為に出来ることは自分で行っていただき、出来ないところを見つけて一緒に出来るようにリハビリを行い、必要に応じて自助具を利用するなどの提案をさせていただいています。まだまだ至らない部分はありますが、患者様の入院生活が充実したものになりますよう、また、患者様の一日も早い退院と退院後の生活がよりよいものになりますよう、微力ながらお手伝いさせていただきたいと思っております。回復期リハビリテーション病棟スタッフ一同で、皆様のお力になれますよう頑張っていきますので、宜しく願い致します。

### 6. 足から首まで体の前・後面を伸ばす体操

両足を軽く開き、両手を床につけるつもりで、上半身を前に曲げる。脚(ひざ)の裏が伸びているのを意識する。腰に手をあて、上半身をゆっくりと後ろに反らす。これを1回から2回程度行う。



### 7. ひざの裏側を伸ばす体操

両足を伸ばして座る。手の指先を足の先に届かせるつもりで、ゆっくりと上半身を前に倒していく。3つ数えて元に戻す。これを3回程度行う。





## 福留 ツル子

橘病院で膝関節の手術をしました。22年1月20日に柏木先生に2回目(反対側)の膝の手術を受けました。入院中は、先生始め看護師さん、リハビリの先生方に励まされました。元気になり痛みもやわらぎました。これからも転ばないように元気でいきたいと思います。

本当にありがとうございました。

## 『人工関節の手術を受けて』

### 野口 涼

私は、22年9月橘病院で、左膝の人工関節の手術を受け、約2ヶ月の入院治療後退院しました。現在は、病院で定期検診を受けながら自宅で毎日2回の入浴、歩行、足上げの運動など筋力の増強を考えてのリハビリに精出しております。

退院後の今は、杖なしでの散歩や炊事洗濯など身の回りのことはできるようになりました。主人同伴で買い物もできます。

手術前、長く続いた膝の痛みから解放され新しい世界が再び開けた思いで楽しく過ごしています。思い切って手術したことを家族共々喜んでいきます。本当に嬉しくてたまりません。これも手術をしてくださった柏木先生や看護師さん、リハビリ担当の先生方のおかげです。入院中優しくお世話いただいた日々を思い出して感謝の毎日です。

### 高橋フサコ

桜花爛漫の今日この頃、柏木先生始め皆様方にはご多忙の事とお察し申し上げます。

過去を振り返れば、膝に水が溜まるようになって35年間痛みにたえながら日常生活が困難になり、その頃高原町の知人から柏木先生の話聞いて手術を決意しました。

入院中は、柏木先生始めスタッフの皆様にご心温まるお世話を頂き有難うございました。手術後は痛みも無く快適に過ごすことができました。退院後は、若い時のような行動ができ今では楽しい日々を送っています。これも柏木先生とスタッフの皆様のおかげでございます。心から感謝申し上げます。本当に有難うございました。

## 『明けても暮れても』

### 木野 千 萬 子

毎日の膝の痛みはおさまらず、死にたいとまで考えていました。ある夕方、娘の友達のお母さんが、橘病院で手術を受け、両足がまっすぐになり、痛みも何もなくなり一寸した仕事もできるようになったと話を聞いて、一度先生にお会いしてみようと娘と二人病院へ行きましたが患者さんの多さにびっくりしました。柏木先生にお目にかかれて膝を診ていただき、「膝の骨があたって歩くのも大変だったね。痛かったね。」と言って下さり涙が出る思いでした。左足から手術を受け、それから右足と両膝の手術を受けました。現在は、近くのスーパーへ買い物に出かけたり、バスに乗って鹿児島市内のデパートまで買い物に行けるようになりました。この嬉しさ楽しさありがとうございます！！

柏木先生、スタッフの皆様本当にありがとうございました。感謝の気持ちでいっぱいです。

### 村田 エミ

前略御免下さい。

膝の手術を受けてから3月14日で4年が経ちました。時の経つのは早いものです。今は杖もつかずに歩けるようになりました。柏木先生のおかげです。本当に心からの感謝の気持ちでいっぱいです。何時も畑の仕事をし庭の草取りをしています。手術前は、痛くて死んだらどんなに楽だろうとか何時も考えておりました。今は、其の痛みもなく本当に先生方に何とお礼言って良いかわかりません。心から感謝致します。

### 永井 歌子

広報を戴きなつかしく拝見させていただきました。有難う御座いました。足の方も大変良く気をつけて生活して居ます。正座はまだ用心して居ます。杖は家の中外で使って居ます。25年4月にはお逢い出来ます日を楽しみに致して居ます。今年は、90歳になります。看護部の皆様にも宜しくお伝え下さいませ。



# 人工膝関節置換術トレーニングinフロリダ

橘病院 小島 岳史

このたび柏木院長の勤めで、H23年11月20日～25日の6日間アメリカフロリダ州のShands at the University of Florida 病院に人工膝関節置換術(通称TKA)の手術トレーニングに行ってきましたのでご報告させていただきます。

日程は6日間でしたが、移動にトータル2日かかり人生の10年分くらい飛行機に乗った感じでした。

1日目は病院見学と手術見学をしました。見学させてもらった病院はアメリカ国内でも最高レベルの病院で、整形外科だけで、手術室が12室あり(橘病院は2室)緊急手術にも対応していました。TKA手術を2例見学しました。トップレベルの先生とのことでしたが、はっきり言って、(ここだけの話)アメリカ人、手術は雑でへたくそです。やっぱり細かい作業を必要とする手術は日本人のほうが上手だと思います。その後、Dr.Valsakとの懇親会に参加しました。私のつたない英語はほとんど通用せず、大学入試までの英語教育の無力さを痛感してしまいました。最近ネットで英会話教室を始めた次第であります。

2日目は医学の発展のため献体されたご遺体の膝を使用し、TKA手術のトレーニングを行いました。できるだけ小さい傷で手術(最小侵襲手術)を行うためのトレーニングです。生身の膝の手術ではないので、なかなか難しいものでしたが、どこに危ない神経・血管があるのか、どのようにしたらもっといい手術ができるのかといった点で非常に有意義な時間でした。

3日目はあまり話すと、院長に怒られそうなので、内緒ですがゴルフしました…。

この6日間で学んだことをこの都城での地で活かしていければと思っています。合言葉は「世界レベルの手術を都城でも！」です。今年もがんばります！



## 日本褥創学会に出席して

看護師 障子田 ツヤ子

先日学会に参加させてもらいましたのでここに報告致します。

転倒して骨折されて入院となった方など、ベッド安静を余儀なくされる患者さんがおられます。当院でもベッド上安静をする上で、栄養、体交、ベッド種類など先生方と検討しながら褥創予防対策に取り組んでいます。

学会では・・・褥創(床ずれ)はなぜできるか・褥創(床ずれ)好発部位・褥創の原因・体位変換の方法・スキンケアなど基本的なことを再確認することもできました。学会を通して、褥創は予防が第一だということを再認識するとともに、リスクアセスメントが褥創発生率を左右する事、褥創の予防管理は看護師のアセスメントに尽きる事、それを実行できる看護技術の習得が必要だと感じました。

当院での取り組みとしては、褥創委員会を中心に活動しており、医師・看護師・理学療法士・作業療法士・薬剤師・栄養士等、様々な職種が連携をとり、ラウンドや体位交換などを行い褥創予防を図るとともに、褥創が発生してしまった場合でもエアマット使用・ラウンドの強化・その他様々な処置を行う事で患者様の負担軽減につながるよう努めています。

最後になりますが、入院中安静の状態でも褥創が心配という方や、ご自宅での療養における安静時における注意点など、ご質問や意見がございましたら気軽にお尋ね下さい。

# 骨密度測定装置が 新しくなりました!

PRODIGY  
Primo Direct Digital &  
Multi-Slice Bone Densitometer



当院では、平成23年7月より新しい骨密度測定装置が稼働しました。この装置は骨がもろくなる骨粗鬆症の診断を行う装置です。

骨粗鬆症は特に高齢者の女性に多く見られ(60歳代女性の約3人に1人)、閉経による女性ホルモン分泌量の急激な低下が骨密度の低下を招くと言われています。その他の原因には、老化によるもの・栄養不足・喫煙・飲酒等があります。骨粗鬆症になると、ちょっとした衝撃でも骨折しやすくなるので注意が必要です。

2006年 骨粗鬆症の予防と治療GL作成委員会のガイドラインによると、踵や手を用いた超音波検査ではなく、腰椎や大腿骨を用いたX線検査が推奨されています。また、腰椎・大腿骨の両者を測定することが望ましいとされています。

以前の装置では腰椎1箇所での測定でしたが、現在の装置では骨折しやすい腰椎と大腿骨骨頭(股関節)の2箇所を測定することが可能となりました。

そのため、診断精度も向上しております。

また検査時間は以前より大幅に短縮されており、痛みを伴うこともありません。

骨粗鬆症が気になる方は、お気軽に医師へご相談ください。骨の状態を十分認識し、骨粗鬆症を予防・治療することで、健康で楽しい生活を送りましょう。

**骨密度測定結果報告書** <患者様用>

氏名: 患者ID: 2011/07/01  
 生年月日: 身長/体重  
 性別: 男性 測定日: 2011/07/01 骨密度: 1.260 g/cm<sup>2</sup>

今までの骨密度経過履歴グラフ

あなたの腰椎骨密度は1.260 g/cm<sup>2</sup>です。  
 若い人と比較した値は106%です。  
 同年代と比較した値は106%です。

あなたの大腿骨骨密度は0.997 g/cm<sup>2</sup>です。  
 若い人と比較した値は106%です。  
 同年代と比較した値は105%です。

**骨密度:** 骨に含まれるミネラル(カルシウム他)の量です。  
**若い人と比較した値:** 骨量が最も多い20歳から40歳前半の平均骨密度100%とした時の比較です。この値が低くなると骨粗鬆症が疑われます。  
**同年代と比較した値:** 骨密度は年齢とともに少なくなっていますが、あなたと同年代の方の骨密度を100%とした時の比較です。

【強い骨を作るには】  
**食生活に注意** ⇒ 食事にはカルシウムの豊富な食品を摂りましょう。  
**豆類摂取** ⇒ 成人に必要なカルシウムの量は一日に600mg。  
**適度な運動** ⇒ 適度な運動をしないと骨はもろくなります。  
**日光浴** ⇒ 日光に当たると私たちの体内でビタミンDが合成されます。このビタミンは骨でカルシウム吸収を促進する働きがあります。1日に15分程度は日光に当たるように心がけましょう。次回の検査は 年 月 日 までです。

橘病院

## 栄養科だより

### ノロウイルスに注意

### 予防のポイント

冬場に多い食中毒はノロウイルスです。人から人へ感染したり、ノロウイルスに汚染された食品や水から感染したりします。感染力が非常に強いので、気づかないうちに感染してしまうこともあります。

- 食事の前やトイレの後などには、必ず手を洗いましょう
  1. 水で手をぬらし石けんをつける。
  2. 指、腕を洗う。特に、指の間、指先をよく洗う。(30秒程度)
  3. 石けんをよく洗い流す。(20秒程度)
  4. 使い捨てペーパータオル等でふく。(タオル等の共用はしないこと。)
  5. 消毒用のアルコールをかけて手指によくすりこむ。(1から3までの手順は2回以上実施する。)

- 生鮮食品(野菜果物等)は十分に洗浄、加熱が必要な食品は中心部までしっかり加熱して食べましょう(食品の中心温度85℃以上1分間以上の加熱)
- 調理器具などは、使用後に洗浄殺菌しましょう  
 エタノールや逆性石鹼はあまり効果がありません。  
 次亜塩素酸ナトリウムが有効です。

### 栄養士紹介

去年の8月から栄養科で勤務させて頂いています、管理栄養士の安永と申します。患者様に満足して頂ける食事の提供と、コミュニケーションが図れるような栄養士になれるよう日々努力していきたいと思っております。よろしくお祈りいたします。

●皆さんから何か疑問に思われることやご質問があれば、当院の医師、看護師、理学療法士、栄養士、薬剤師、放射線技師、事務員がお答えいたしますので文書や口頭、メールでかまいません。お寄せください。

(メールアドレス info@tachibana-hospital.jp)